

一般演題プログラム

調査・研究 14:10～14:50 座長：渡邊昭彦先生（札幌清田病院）

- 1-1 3日型フェンタニル(FNT)貼付剤(72-h TD)における定時鎮痛薬の切れ目の痛み(End-of-dose failure;EDF)の頻度と1日型FNT製剤(24-h TD)へのスイッチの効果
～a cross-sectional retrospective bi-center study～

小池和彦¹⁾, 西里卓次¹⁾, 後藤義朗¹⁾, 渡邊昭彦²⁾, 猪俣英俊³⁾, 宮島治也³⁾, 岡本哲郎³⁾, 長町康弘³⁾,
藤見章仁³⁾, 山内尚文³⁾, 照井 健⁴⁾, 石谷邦彦⁴⁾

社会医療法人 札幌清田病院 緩和支援医療センター 緩和ケア内科¹⁾, 緩和ケア科・麻酔科²⁾, 内科³⁾,
医療法人 東札幌病院 内科⁴⁾

- 1-2 乳がん骨転移患者に対する骨修飾薬(BMA)投与による顎骨壊死(ONJ)の発生状況

佐々木あづさ¹⁾, 二井矢ひとみ²⁾, 大串祐美子²⁾, 亀嶋秀和³⁾, 太子芳仁⁴⁾, 水越孝典⁴⁾, 大村東生³⁾, 三原大佳⁵⁾,
照井 健⁵⁾, 石谷邦彦⁵⁾

医療法人 東札幌病院 外来¹⁾, 看護部²⁾, 外科³⁾, 口腔外科⁴⁾, 内科⁵⁾

- 1-3 A 大学病院におけるがん患者の苦痛のスクリーニングの分析

佐藤明美^{1) 6)}, 団塚恵子¹⁾, 吉岡 薫^{2) 6)}, 大森克哉^{2) 6)}, 米田 舞^{3) 6)}, 石井貴男^{4) 6)}, 木川昌康^{4) 6)},
高橋和伸^{5) 6)}, 岩崎創史^{5) 6)}

札幌医科大学附属病院 看護部¹⁾, 薬剤部²⁾, 緩和医療学推進講座³⁾, 神経精神医学講座⁴⁾, 麻酔科学講座⁵⁾,
緩和ケアチーム⁶⁾

- 1-4 下肢麻痺を伴う乳癌骨転移患者に対し, 集学的治療により QOL の向上がみられた 3 例

亀嶋秀和¹⁾, 大村東生¹⁾, 目黒 誠¹⁾, 染谷哲史¹⁾, 照井 健²⁾, 石谷邦彦²⁾

医療法人 東札幌病院 外科¹⁾, 内科²⁾

事例報告

14 : 50 ~ 15 : 50

座長 : 照井 健先生 (東札幌病院)

〇2-1 終末期がん患者の呼吸症状緩和に高流量鼻カニューラ (ネーザルハイフロー) が有用であった 1 例

福土菜津実, 山崎 裕

市立函館病院 緩和ケア科

〇2-2 症状緩和とコミュニケーションに苦慮した上咽頭がんの 1 例

中野渡正行, 飯田道夫, 本間次郎, 福原 敬

札幌厚生病院 緩和ケアセンター

〇2-3 メサドン導入前後に PT-INR を測定したワルファリン内服患者の 1 例

吉岡 薫^{1) 2)}, 大森克哉^{1) 2)}, 岩崎創史^{2) 4)}, 高橋和伸^{2) 4)}, 佐藤明美^{2) 3)}, 中田浩雅¹⁾, 山蔭道明⁴⁾, 宮本 篤¹⁾

札幌医科大学附属病院 薬剤部¹⁾, 緩和ケア管理室²⁾, 看護部³⁾, 麻酔科学講座⁴⁾

〇2-4 上口蓋悪性黒色腫に伴う頭痛, 顔面への放散痛に対して五苓散が著効した緩和ケアチーム介入患者の 1 症例

高橋和伸^{1) 2)}, 岩崎創史^{1) 2)}, 佐藤明美^{2) 3)}, 木川昌康^{2) 4)}, 石井貴男^{2) 4)}, 吉岡 薫^{2) 5)},
大森克哉^{2) 5)}, 米田 舞⁶⁾, 山蔭道明¹⁾

札幌医科大学医学部 麻酔科学講座¹⁾, 緩和ケア管理室²⁾, 看護部³⁾, 神経精神医学講座⁴⁾, 薬剤部⁵⁾,
緩和医療学推進講座⁶⁾

精神腫瘍

15 : 40 ~ 16 : 10

座長 : 合田由紀子先生 (市立札幌病院)

〇3-1 初診前面接から得られた緩和ケアのイメージに関する考察

福澤公美¹⁾, 森田亜樹¹⁾, 久保田一葉¹⁾, 渡邊昭彦²⁾, 西里卓次³⁾

札幌清田病院 緩和支援医療センター 地域医療連携室¹⁾, 緩和ケア科・麻酔科²⁾, 緩和ケア内科³⁾

〇3-2 当院における臨床心理士による家族ケアについて

山崎 裕^{1) 2)}, 赤松直子^{2) 3)}, 小野裕子^{2) 4)}, 村田京子^{2) 4)}

市立函館病院 緩和ケア科¹⁾, 緩和ケアチーム²⁾, 臨床心理士³⁾, 緩和ケア認定看護師⁴⁾

○3-3 悪性黒色腫患者がインターフェロンβ投与によってうつ病を発症した一例

柏木智則¹⁾, 石井貴男²⁾, 白石将毅²⁾, 木川昌康²⁾, 河西千秋²⁾

江別市立病院 精神科¹⁾, 札幌医科大学 神経精神医学講座²⁾

鎮静・ブロック・リハビリテーション 16:10～16:40 座長 : 敦賀健吉先生 (北海道大学病院)

○4-1 「死」を望んでいる終末期がん患者は、“安楽死”と“苦痛緩和のための鎮静 (Palliative sedation; PS)”とをどうとらえているのか？

—an analysis of patient medical records—

小池和彦¹⁾, 西里卓次¹⁾, 後藤義朗¹⁾, 渡邊昭彦²⁾, 工藤弘恵³⁾

社会医療法人 札幌清田病院 緩和支援医療センター 緩和ケア内科¹⁾, 緩和ケア科・麻酔科²⁾, 緩和ケア病棟³⁾

○4-2 神経ブロックの適応と有効性から緩和医療におけるペインクリニックの役割を考える

宮本奈穂子¹⁾, 御村光子²⁾, 佐々木英昭¹⁾, 松浦智子³⁾, 太宰昌佳⁴⁾, 山澤 弦¹⁾

NTT 東日本札幌病院 麻酔科¹⁾, ペインクリニックセンター²⁾, 緩和ケアチーム³⁾, 消化器内科⁴⁾

○4-3 作業療法とライフレビューで終末期のニーズを明確にすることができた甲状腺癌を持つ高齢男性症例

三宮孝太¹⁾, 是廣由美子¹⁾, 岩淵友香¹⁾, 越川志保¹⁾, 田村僚子¹⁾, 山田雄二¹⁾, 藤原美秋²⁾, 大塚義紀¹⁾

北海道中央労災病院 緩和ケアチーム¹⁾, 耳鼻咽喉科²⁾